

私のすすめるこの1冊

小松崎 敏(体育学科 准教授)

『おばあちゃんの時計』

ジェラルディン・マッコリーン(文), スティーブン・ランバート(絵), まつかわまゆみ(訳)

オーストラリアはメルボルンの街に、「フリンダースストリート(Flinders Street)」という駅があります。この駅の正面入口には、教室によくあるような白くて丸いアナログ時計が、9つもきれいに並んでぶら下がっていて、長針短針ともにバラバラな位置を指しています。時計の下の「NEXT TRAIN FOR」の文字からわかるように、これらは各方面への次発列車の出発時刻を示す時計です。私たちもこのような電車の発車標はよく目にしますが、電子式のデジタル表示が多くなっていますので、9つのアナログ時計は、普段何となく過ぎている「時」を感じるものとして、とても新鮮に映ります。

今回は、止まってしまった箱入りの大きなふりこ時計からストーリーが始まる、文:Geraldine McCaughrean(ジェラルディン・マッコリーン), 絵:Stephen Lambert(スティーブン・ランバート)による絵本、「My Grandmother's Clock(まつかわまゆみ訳:おばあちゃんの時計, 評論社, 2002)」をご紹介します。初版は2002年、イギリスのロンドンです。内容も心に響くところが多いのですが、印刷とか製本という少し偏った話になりますこと、これも書籍を眺めるひとつの視点ということでご了承下さい。なお、この本にはノンブル(nombre:もとは仏語。ページ番号)がありませんが、本文全32ページとして引用させていただきます。

私がこの本(英語のハードカバー版)を手にした動機は、ほとんど「ジャケ買い(ジャケットに惹かれて買った)」で、いったいこの絵はどうやって「印刷」されているのか?と疑問に思ったからでした。ランバートさんの絵は、とてもやわらかくふわふわしっとりしていて、非常にやさしい印象を受けます。一方で、ほとんどの絵がフルブリード

(full bleed:余白なく用紙の端まで印刷される)であって、おばあちゃんが「秋には、木ぎが、もえるよう/the

autumn trees on fire(pp.22-23)」と、季節という「時」を語る見開きページは、やわらかいけれども迫力ある、何とも不思議な感じがしました。この本は本当に「4つの色の網点(あみてん)」だけで印刷されているのか確かめたくて、買って帰ってルーペで覗いてみると、確かにたくさん小さな網点が見えます(20倍ぐらいに拡大すれば見えます)と思います。ただし、日本語版の黒い文字部分には網点は見えません)。あらためて不思議です。

この物語は、「あたし」と「おばあちゃん」の会話で進んでいきます。誕生日と思われる挿絵に6本のキャンドルがのったケーキがあるので、「あたし」は5-6歳と推定されます。港近くの丘の上にあるおばあちゃんちには、動かないふりこ時計があります。「時計, なおしたほうがいいんじゃない(p.6)」というあたしに、おばあちゃんは「こんなにたくさん、ほかに時計があるのに(p.6)」と返します。「ほかの時計なんか、ない(p.6)」のに。

おばあちゃんは、「しんぞうがトクントクンいうと、秒がわかる(p.8)」と言います。1分, 1時間, 1日……, 季節だってわかる。「もつとながいは時間は、空をめぐる星ぼしが、おしえてくれる(p.29)」。本の題目は「×おばあちゃんちの時計, ○おばあちゃんの時計」であるわけですが、結局のところあたし曰く「ふりこ時計は、いるわよね(p.31)」ということで物語は閉じます。

どのページにも必ず動物が描かれていることも、ゆったりとした心にさせられるひとつの要因かもしれません。また個人的には、挿絵には何度も登場するおじいちゃんの、物語冒頭にあるたったひとつのセリフが、「そりゃそうですよね」という感じで好きです。そして、おばあちゃんの安静時心拍数は60bpm程度で最大心拍数を推定すると……, なんて考えてしまうのは、たまにはしないでおうと反省させられるのです。

☆☆みんなでつくりよう！わくわくブックチャート☆☆
読書キャンペーン

対象：本学学生

実施期間：2016年10月1日（土）～2017年2月17日（金）



どんどん参加してね！

① **まず本を借りる★**
 (9/26～先行実施)
 ♥「そったくんポリバッグ」をもらう

② **借りた本を返す★**
 ♥「ポイントカード」をもらう（1ポイント付、期間中1回）

③ **本を読んでチャートを書く★**
 ♥1ポイントもらう
 または
 ③ **本を読んでコメントを書く★**
 ♥3ポイントもらう
 ◆館長賞のWチャンス！

④ **学修支援グッズをもらう★**
 ◆3ポイント：そったくんグッズ、文房具など
 ◆5ポイント：そったくんビニールトートバッグ
獲得ポイント数に応じて選べます！
 （先着順。なくなり次第終了）

☆☆賞品の引換☆☆

♠期間：2016年10月3日～
 2017年3月24日
 ♠時間：月～金 9:00～17:00
 ♠場所：附属図書館1F 事務室

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画を始めました！

- リクエストは随時受け付けています
- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。（結果によっては購入できないこともあります。）リクエストや投票にどんどん参加してください！

読みたい本に投票しよう！（1日1ポイントまで）

※12月の投票期間は

12月15日(木)～12月27日(火)です。

図書館1階渡り廊下と北館2階研修セミナー室前に掲示しています。

投票結果は館内に掲示しますのでお楽しみに！

こんな本を購入しました！ ※貸出できます。（貸出中の場合は予約してください。）

『嫌われる勇气』
 古賀 史健, 岸見 一郎著
 2013年の発行以来大ヒット中！アドラーの思想を青年と哲人の対話形式でまとめた1冊。



『何様』 朝井リョウ著
 映画化された『何者』アナザーストーリー六篇を収録した最新作品集。



『小説君の名は。』 新海誠著

『秒速5センチメートル』『言の葉の庭』など美しい映像表現と切ないストーリーで知られるアニメーション監督・新海誠による大ヒット映画の原作小説。



図書館講習会のお知らせ

【申込方法】

氏名・専攻・日時を明記の上、library@kyokyo-u.ac.jpまでご連絡ください。
当日参加の場合は開始時間の5分前までにカウンターにお申し込みください。

エブスコ社から講師を招いて特別講習会も実施！

エブスコホスト(EBSCOhost)

【開催日時】12月7日(水)13:00~14:00

企画展示室

【開催中！】ぜひ、ご覧ください！

◆第21回 教科書展 高校物理・生物編

【日時】11月9日(水)~12月10日(土)

【休館】日・祝および、11/26(土)、12/3(土)

【時間】9時~附属図書館の開館時間に準ずる

学習指導要領、教科書、理化学機器などを展示しています。

みなさんも、発表の場
どんどん活用してくださいね。



そったくん
来場！

えほんのもり

(場所：児童書コーナー)

今月は「うたとおはなしの会」を開催しますので、「えほんのよみきかせ」はお休みです。

次回は、

1月16日(月)15:00~ です。

第27回うたとおはなしの会

【日時】2016年12月10日(土)10:30~11:30

【場所】附属図書館北館2階 研修セミナー室1

冬やクリスマスを満喫できるうたやおはなしをたくさんご用意しています。好評の人形劇はウクライナ民話「てぶくろ」を上演予定です。



学修相談カウンター 12月も受付ています！

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？
どんどん利用してください！

【場所】北館2階ラーニングコモンズ

【時間】16:00~20:00の該当時間



京都教育大学 それはかなう夢講座

おにぎり2個
&お茶付き！
先着30名

第4回のお知らせ

【日時】2016年12月14日(水)12:10~12:40

【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ

【講師】田川宏二(教育学科 准教授)

【テーマ】記憶のメカニズムを科学する

〈概要〉

単語や公式を何度繰り返し暗記してもなかなか覚えられなかったり、その一方で一度聞いただけの歌詞が忘れられなかったり、はたまたま人の名前が喉まで出かかっているのになかなか出て来ない…といった経験は誰でもあるものです。このような記憶に関する問題は、教育や学習にも密接に関係します。今回は、記憶の仕組みやその不思議について、心理学の立場から科学的に迫ってみたいと思います。記憶についての体験していただくための簡単な実験も行います。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト準備WG

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

【開催中】

◆企画展「音をたのしむ×音からまなぶ」

【期間】2016年11月2日(水)~

2017年1月30日(月)の月・水・金・日

※但し祝日は休館

【時間】13:30~17:00

◆第5回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

【期間】2016年8月25日(木)~12月3日(土)

今年も大学ミュージアムへ！京都の大学ミュージアムをまわって知と美と素敵な景品を手にとろう！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品「草木乾腊法」(くさきかんせきほう)

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム

<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

話者の判断の表れた言葉に着目する文学の学習
—中学2年生「タオル」(重松清)の授業—

寺田 守

京都教育大学紀要. 2016, No.128, pp.89-105.

文学作品を読み、他の読者と、ああでもないこうでもないと言語合うことは楽しい。小中学校の校内研修会に招かれる時、教師達が教材の解釈を夢中で議論する場面に何度も立ち会ってきた。その楽しみを学習者達にも届けたいという思いから私は研究を行っている。

だが、活動の場面を用意すれば学習の経験となるという考え方は、底の浅い授業となり、学習者にも飽きられてしまうだろう。適切な学習指導目標とカリキュラムがあってこそ学習者主体の活動は意義深いものとなる。そこでこの論文では、話者の判断の表れた言葉に着目する方法が文学の授業の学習指導目標として妥当であるかどうかを検討した。

教科書を検討したところ、小学校2年生、4年生、中学校1年生など多くの学年・教材で登場人物の気持ちを理解する目標が立てられていた。登場人物の気持ちを理解する方法において学年間の関係が明確とはいえないという課題を指摘できた。そこで間接的に登場人物の気持ちが表現された言葉を手がかりとして理解する複数の方法の内、中学校段階の課題として話者の判断の表れた言葉に着目する方法を取り上げることとした。

授業を京都教育大学附属桃山中学校2年生に行い、学習記録とアンケートを分析することで学習指導目標が適切であったかどうかを考察した。結果として、話者の判断の表れた言葉に着目して解釈を話し合うことで、登場人物の気持ちを実感的に理解できることが分かった。また7割の学習者が十分満足できる到達度に至っており、中学校2年生の学習指導目標として適切であることが分かった。

登場人物の気持ちを理解するという目標は、重要ではあるが限られた範囲の学習指導目標である。授業作りとカリキュラム作りの両輪で研究を進めていく必要がある。読むことの楽しさを感じられる授業作りをこれからも探究していきたい。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要128号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00
■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2016年12月							2017年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

12/3 推薦入試

12/23-1/4 冬季休業

1/5 授業再開

1/14-1/15 大学入試センター試験

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.195(2016年12月号)

発行日:平成28年12月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

